

Weekly Report



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度
国際ロータリーのテーマ
人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
さらなる前進

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
幹事 長：八木沢幹夫
クラブ 事：関谷 俊征
広報 員：星野 一郎
例 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋1504号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1760回例会

～経済と地域社会の発展月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2016年10月13日(木) 晴れ 第13回

司 会：鶴田浩会場委員
齊 唱：「我等の生業」
ゲ ス ト：地区米山奨学委員会委員長 金田英和さん
花井芳太郎さん

会長挨拶

八木沢幹夫会長

今日は声についてです。声はヒト以外の動物も出します。今回はヒトの声を医学的に簡単に話してみます。皆さんお分かりのように、声は喉頭の中の声帯が振動して発せられる音です。声紋と称する左右声帯の間があります。正門を通過する呼吸によって声帯が一定周期振動し、開閉します。声門を通過する呼気流を断続させることでエネルギー変換され、声の音源となります。声門の閉鎖は、呼気圧によって押し上げられた声帯縁が弾性により復元する力や、声門間隙を通過する気流のベルヌイ効果の陰圧で生じます。正常発声の声帯振動の1周期声門が閉じた状態、正門が開いていく状態、声帯が開放状態、声帯が閉じていく状態の4つの状態があります。声には、高低、強弱、持続、音質の4つの属性があります。声の強さの調節は呼気圧、声の高さの調節は主に内喉頭筋によりますが、声を低くする方法はまだ分かっていません。声の音質は声帯だけでなく、声道、鼻道の状態も影響します。一般的なヒトの発声持続時間は平均で男性約30秒、女性では約20秒とされています。



ニコボックス

平野哲始郎委員

- ・ 今日、貴重な時間を頂き、大変ありがとうございます。皆様の大変温かい米山へのご支援に感謝申し上げます。
地区米山記念奨学委員会委員長 金田 英和さん
- ・ 地区米山奨学委員会委員長金田さんをお迎えして。今日は卓話宜しくお願いします。 近藤 雄亮さん
- ・ 妻の誕生日祝ありがとうございます。還暦でした。 長谷川 隆さん
- ・ 11月8日に公会堂で名古屋市区政協力委員大会の席上で、名古屋市長より区政協力功労者として表彰されます。 鈴木 圓三さん
- ・ 本日は花井芳太郎さんを例会見学にお誘いいたしました。宜しくお願いいたします。 鈴木 淑久さん
- ・ 昨日のH会コンペ、勘違いでドタキャンでした。H会の皆さん、ごめんなさい!! 湯澤 信雄さん

・ 本日、NHKホットイブニングで名古屋の魅力向上コメントさせていただきます。是非ご覧ください! 18:00放送です。 鶴田 浩さん

・ 本日、愛知カンツリー倶楽部にて、中部ミッドアマチュア選手権を開催しています。競技委員長としてご活躍していました。(山口談) 泉 憲一さん

出席報告

平野哲始郎委員

会員65名 出席40名 (出席計算人数45名)

出席率 72.7% 10月 6日は補填により 85.5%

幹事報告

関谷俊征幹事

- ・ 10月20日(木)は振替により例会変更となります。
- ・ 10月22日(土)はWFFを久屋大通公園にて行います。本日メールアドレスにチケットが入っています。当日は11時にテレビ塔に集合となります。

委員会・同好会報告

米山奨学委員会：天野正明委員長

10月20日(木)三島の米山梅吉記念館へ9名で訪問します。9:29発のこだまで向かいます。昼食の予約もしてありますので、ご欠席がないようお願いいたします。

社会奉仕委員会：鶴田浩副委員長

皆様にどんぐりの苗を育てていただいています。春の植樹に向けて、現在の状況のアンケートをとりたいと思います。11月中旬に配信いたしますので、宜しくお願いいたします。

スキー同好会：鶴田浩さん

来年1月27日(金)～29日(日)に札幌手稲での活動を計画しております。是非、ご出席をお願いします。

クラブ広報委員会：星野一郎委員長

事務局移転によるネット環境不備により、ウィークリーアップのご案内が出来ておりません。また、紙としてお配りすることも出来ていないので、なるべく早く環境を整えたいと思います。宜しくお願いいたします。

米山功労クラブ表彰

名古屋瑞穂RCが米山奨学会より第43回米山功労クラブ表彰をされ、感謝状が贈呈されました。



米山記念奨学事業について

皆様こんにちは。私の所属する名古屋東山RCは今年度20周年になります。来年2月16日(木)にルブラ王山にて記念式典を行う予定ですので、大勢の方へ出席していただくと嬉しく思います。

米山記念奨学会はご承知の通り、1952年に東京RCの米山梅吉さんが、戦時中に迷惑をかけたアジアの学生を日本に招待して支援するために始めた平和のための活動です。以来64年続いており、全国のRCが行う事業になりました。現在はアメリカやドイツなど、対象が世界中の学生に広がっています。有資格者はすでに私費で日本へ留学している学生の中で、留学期間が残り2年の、学部生3、4年生、修士1、2年生、博士2、3年生となります。地区委員会では、本部から送られた愛知県の有資格者リストを参考に、有資格者数が多い約25の大学を選んで指定します。一番多いのは名古屋大学で、25～30人募集しております。現在は愛知県全体の留学生の6割が中国の学生です。募集をかける場合は1ヶ国30%以内としているので、中国の米山奨学生は高い倍率から選ばれた優秀な学生です。

留学期間を終了すると学友会に入ります。学友会は日本に33、海外に7つあります。海外の学友会でも総会を行っており、昨年12月に上海の総会に参加しましたが、元奨学生と名刺交換をすると弁護士や企業の社長、大学の先生ばかりでした。学友会では、日本円で1口30万円を出資し、ファンドを作っているそうです。そのファンドの資金を運用した運用益で小学校に図書館を寄贈した事を聞き、ロータリーの精神が学友にも受け継がれていることを肌で感じました。

日本に留学している学生は、日本が大好きな人ばかりです。また、私費で来るので親もそれなりの財力がないと難しいと思います。つまり、貧困を助けるのではなく、優秀な学生と日本人の心の絆をロータリーの世話クラブやカウンセラーを通して作り、母国に帰ったり日本で就職した学生と、愛知から平和の架け橋を架けるための活動であります。私共のクラブの会員が海外視察に行った時に、元奨学生がロータリーバッジを見て、「米山で大変お世話になりました」と話しかけてきたそうで、友好は卒業した後も続くという例です。

一方、奨学生を卒業した学友との親密な繋がりを持っているクラブが少ないです。私自身も、カウンセラーをした経験がありますが、学生が本国に戻りますと、連絡が取れなくなってしまう場合もあります。卒業した後が米山の本当の価値が試されます。この事業は皆様1人1人の寄付で成り立っており、皆様自身がこの事業の主役です。世話クラブと学生は一生のお付き合いをしていただければと思います。

地区委員会では学生の人間性を3人の面接官が見ます。学生は学業が優秀で、専門的な分野は私たちが分からないくらい勉強しています。委員会から学生に求める事は、世話クラブの例会へ月1回出席する事のみで、出席することでロータリーのメンバーと交流を求めて欲しいということです。学生の母国の事を皆様に知ってもらい、会員からは日本の文化、歴史、日本語を通じて心を伝えてもらい、1年間で心の繋がり、絆ができることを目的としています。日本と外国で心が繋がることで、2760地区からひとつでも多く平和への架け橋を繋げるために寄付をお願い



しています。米山奨学会は日本のロータリーが世界に誇れる独自の制度です。奨学金にも色々種類があり、他の奨学金はお金を返さないといけません、米山奨学金は返さなくてもいい奨学金です。国を離れると、寂しいことや色んな事があります。一人の奨学生に対して一人のカウンセラーが1年間、悩みや相談事を聞いてお世話します。

奨学生はロータリーの特徴を、職業奉仕、開放した心と冒険精神、カリスマ性やエネルギーがある事と捉えるようです。その中には、ロータリアンになる事を目標にしたり、自分が成長していく舞台がロータリーだと感じる学生もいるようです。

米山奨学会としては、学生には何の制限もなく、今やっている勉強を不自由なく全うしてもらえようと思います。だからこそ、歳を取っても日本でいい経験をさせてもらった思いが残り、日本と仲良くできるのではないかと期待します。勉強だけをさせ、学生が他の社会と付き合うことを遠ざけるような奨学金制度もありますが、本来の奨学金制度というものは、日本のファンをつくるものです。他の社会との交流を促進しないことには、日本ファンをつくれません。特に英語の事業も行っていて、留学生が日本語を覚えなくていい環境になってしまう事は、あまりよくないです。米山奨学会のような日本の社会と接点を持つ日本のファンをつくることは、大変意味があると考えております。

米山事業の昨年度の収入・寄付金は全国で15億7700万円でしたので、来年の採用数は780人に増える予定です。愛知県は個人の平均寄付額が多く、全国1位で、来年の採用数は48人に増えます。これは3年前の寄付を割り振っており、来年、再来年には50人以上の採用になるので、世話クラブを県内3分の2のクラブにお願いすることになります。面接で合格者を決め、世話クラブを皆様をお願いすると断られる事も多く、入学式に間に合うか心配になる事もあります。採用人数が増えるのは嬉しい事なので、世話クラブのお声がかかりましたら、是非引き受けていただけるようお願いいたします。寄付金は税額控除か所得控除を選び、税制上の優遇処置を受けられるのは財団の寄付と同じです。マイロータリーを見ていただきますと、自分の寄付経歴が載っています。

奨学生からの生の声はFacebook、服部ガバナナーのページ、米山記念奨学会2760地区のページに動画がアップしてありますので、皆様にも見ていただきたいと思っております。

最後にWFFが近づいて来ました。今年も米山はドリンクブースを担当しております。WFF例会の際には立ち寄っていただければ嬉しく思います。また、来週に米山梅吉記念館を見学されるという事で、全国のロータリアンの寄付から出来た大変立派な施設ですので、見ていただくと全国のロータリアンの気持ちが分かるのではないかと思います。

例会のご案内

■今週 10月20日(木) 振替により例会変更

■今週の行事 10月22日(土) WFF
場 所：久屋大通公園

■次週の卓話 10月27日(木)
卓 話 者：中部電力(株)販売カンパニー事業
戦略室戦略グループ長 市川真己さん
テ ー マ：電力・ガス自由化における中部電力
の取り組み